

米づくり情報 (NO. 1)

令和3年6月15日

伊万里・西松浦地区農業技術者連絡会作物部会

1 気象概況 (アメダス観測地：伊万里)

月	半旬	平均気温		最高気温		最低気温		降水量		日照時間	
		平年値	本年値								
		℃	℃	℃	℃	℃	℃	mm	mm	時間	時間
5月	5	19.4	18.8	25.0	23.4	14.4	14.2	25.3	16.0	31.8	30.4
	6	20.1	19.6	25.5	25.1	15.2	14.4	26.1	34.5	36.1	42.8
6月	1	20.6	21.1	25.8	25.8	16.3	17.2	24.3	63.5	27.1	15.5
	2	21.3	23.4	26.1	29.8	17.3	18.3	33.7	0.0	24.1	50.9
	3	21.9		26.5		18.2		48.2		22.1	
	4	22.4		26.8		19.0		67.9		19.6	
	5	23.1		27.1		20.0		85.9		16.0	
	6	24.0		27.7		21.1		95.6		14.1	

- ・気温は、5月2~4半旬にかけて平年より2℃ほど高く、5月5半旬~6月1半旬にかけて平年並みで推移し、6月2半旬から平年より2℃高くなった。
- ・降水量は、5月2半旬~6月2半旬にかけて平年よりやや多く（平年対比 154%）、日照時間は平年よりやや少なく推移した（平年対比 91%）。

2 生育状況 (6月15日)

項目 品種 (設置場所)	年次	草丈 cm	茎数 本/m ²	主稈 出葉数L	葉色 SPAD	概要
夢しずく 6/2移植 東山代町脇野	本年値	28.6	89	4.7	32.9	<ul style="list-style-type: none"> ・草丈は平年並み ・茎数は、平年より4割少ない ・主稈出葉数は平年より 1.5L 少ない ・葉色はやや淡い
	平年値	28.8	153	6.2	37.9	
	平年比	99	58	-1.5	-5.0	

(耕種概要)

品種	年次	苗質		移植日 (月 日)	栽植密度 (株/m ²)	備考
		苗丈	葉令			
夢しずく	本年値	19.1	2.2	6月2日	19.1	前作 水稻
	平年値	14.3	2.5	5月29日	18.1	前作 水稻

※夢しずくの平年値は、H23~R2の平均値から最上位と最下位の数値を除いた平均値。

3 今後の管理

1) 山間早植え水稻 (5月上旬移植)

- ・今年度は、移植後の気温が平年より高く推移しているため、すでに有効茎を確保できている圃場が多い。有効茎が確保できた圃場から順次中干しに移行する。6月下旬には、幼穂形成始期直前となり稲の用水要求度が高い時期となるため中干しが遅れないよう留意する。



参考 夢しずく茎数

左 18本 右 17本
(間もなく中干へ移行)

左 29本 右 23本
(ただちに中干へ移行)

- 今後は、葉いもち病の発生に留意し、進展型の病斑が見られた場合は、オリブライト粒剤等により直ちに防除を実施する。

2) 普通期水稻「夢しずく」

- 活着期～分けつ期を迎えている。除草剤散布後7日以降は、浅水管理とし、分けつの発生促進に努める。また、補植苗はいもち病の発生源となるため、除草剤散布後は速やかに撤去する。
- ガスわき対策として移植後15日、25日頃は夜干しなどを行い、根の活力を高める。
- 一部圃場においてヒエやコナギ、ホタルイ等の発生が散見される。今後は、中後期除草剤を使用して、各除草剤の使用時期を守り、早めに防除を実施する。

3) 共通

○雑草管理

- 除草剤散布時に水深が確保できなかった圃場や、散布後に水が確保できなかった圃場で雑草の発生が見られる場合は、中後期除草剤による対応を行う。
- 用水確保が難しい圃場においては落水処理のできる除草剤、用水が確保できる圃場は粒剤等の中後期除草剤を選択し適切に防除を実施する。

○病害虫防除

- 佐賀県農業技術防除センター6月発生予報（5月27日付け）では、葉いもちの発生は、早植え、普通期水稻共に「やや多」となっており、スクミリンゴガイの発生は「やや多」と報告されている。圃場の発生状況を確認し適期防除に努める。
- 6月9日までのBLASTAM情報（気象条件のみによって葉いもちの発生を予測するシステム）によると、伊万里ではいもち病感染好適条件は出現していないが、発生状況には十分注意し、病斑が確認された圃場では速やかに防除を行う。
- 圃場内に放置されている補植苗は「いもち病」の温床になるため速やかに除去する。



補植苗で見られたいもち病の病斑

(ウンカ類)

佐賀県嬉野市では、5月11日に1頭のトビイロウンカの飛来が確認されている。今後の飛来状況や圃場条件（移植時期や品種、圃場の場所等）によってウンカ類の発生量は異なるため、注意深く圃場を観察する。（※6月9日時点）

また、長崎県諫早市、佐世保市でそれぞれ、6月3日に1頭ずつトビイロウンカの誘殺が確認されている。（※6月14日時点）

令和3年産水稻生育期間気象グラフ（アメダス：伊万里）

西松浦農業改良普及センター

